

法人本部

企画課管理用 管 ー F ー 2

推進主体	施設部施設課
責任者	施設部長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管	ー	F	キャンパスマスタープランの策定と公表	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・目的:キャンパスの質的向上と調和のとれた秩序ある発展のため、キャンパスマスタープラン(CMP)を策定し公表する。 ・内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 取組方針・計画の策定 CMPを策定する意義の確認(他校事例の勉強会) CMPの想定年数やその後の定期的見直し時期などの取組方針決定 計画を策定する会議体や公表時期などの決定 2. 基本計画策定 3. 具体的計画策定と公表 						

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。						
令和4年度末:取組方針・計画の策定						
令和7年度末:基本計画策定						
令和9年度末:公表						

③ ロードマップ							
年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定		取組方針・計画の策定(1y)					
			基本計画策定(3y)				
					具体的計画策定(1.5y)		
							公表

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。						
指標の名称	指標の定義(計算式/説明)					
1						
直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標						
実績						
2						
直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標						
実績						

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
（ 令和4年度 ）	<p>CMP策定のための課題抽出、法令や現状調査、基本設計与件の作成。</p> <p>【4月～7月】 取組方針と計画について最低限決めなければならない事項の洗い出しと、部内で纏めたCMPを諮る会議体および公表時期の想定を行う。</p> <p>【8月～11月】 他校事例や法的制限、構内の状況など、検討に必要な調査を行う。</p> <p>【12月～3月】 調査結果の取りまとめと部内検討を行い、次年度以降の基本設計の与件を取りまとめる。</p>	<p>当該計画を策定するにあたっての前提条件を部内で定めると共に、本計画の意思決定プロセス案※をまとめ、担当理事に報告をした。今後は、この素案要領に基づいて、計画の具体化を目指す。</p> <p>※関係者で協議の上、計画概要をまとめ、概要内容に応じた所轄会議体で承認を予定。</p>
（ 令和5年度 ）	<p>具体的計画立案と協議による課題抽出と見直し、並行して構内の現状調査や各種法令確認を行う。</p> <p>【4月～7月】 計画素案のまとめ・協議</p> <p>【8月～10月】 素案を踏まえた計画見直し・協議</p> <p>【11月～3月】 計画見直し・協議</p>	<p>当計画は大学において別途計画している「長期的観点でのキャンパス計画の検討」と、法人において次年度以降に検討を開始する「将来計画策定に関連する検討部会」と歩調を合わせて行うこととし、施設部で今年度進めるべくは大学のキャンパスプラン建設委員会への参加と、次年度の検討部会において検討材料となる資料（現有する建物の建設年度や改修履歴を参考に耐用年数の目途を定め、それらの建物を中長期で建替えるパターン案）の作成を進めた。</p>
（ 令和6年度 ）	<p>各学校へヒアリングを行い、教育研究計画との調整を図りつつ、正規の会議体（将来計画策定委員会のキャンパス計画検討部会）において2023年度に作成した建替えパターンを基に検討を行う。</p> <p>【4～9月】 各学校ヒアリングを踏まえた計画の修正と必要経費の試算。</p> <p>【10～3月】 財源の確認とそれを踏まえたパターン案の修正。</p>	<p>当年度も大学のキャンパスプラン建設委員会への参加を行い、大学が検討している「長期的観点でのキャンパス計画」において大学が課題と捉えている事象や目指す将来像を把握すると共に、法人部門内では将来計画策定委員会においてキャンパスマスタープラン検討に繋がる課題について検討を進めた。</p> <p>実作業としては将来計画策定委員会およびキャンパス検討部会において検討材料となる、既存建物の建替え想定での法的シミュレーションや学校運営への影響を勘案して建替えパターン案の作成を進めた。</p>
（ 令和7年度 ）	<p>将来計画策定委員会で検討されるキャンパス計画に係る方針に従い、財政計画検討部会とキャンパス計画検討部会において協議を行う。その資金計画に沿った改修もしくは建替えパターン案を検討し、将来計画策定委員会へキャンパスマスタープラン案として提示する。</p>	